



## 安全で安心な まちづくり

市政懇談会は、市民の皆さんが強く望まれている「県都前橋の再生」を図っていくうえで不可欠な皆さんの生きた意見・提言をいただくために本年度も市内23地区で開催を予定しています。今年度はテーマを「まちの安全・安心」といたしました。

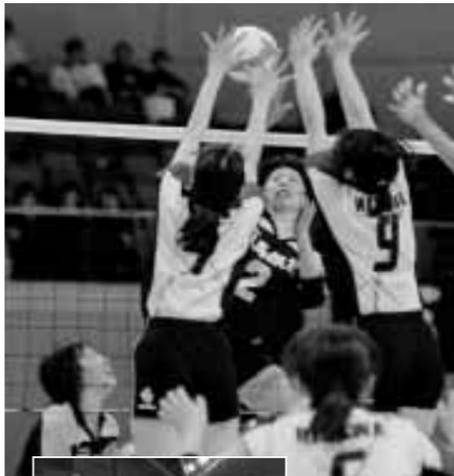
昨今、マンションから男の子が投げ落とされる信じられない事件がありましたが、このように市民が犠牲になる痛ましい事件が続いております。また、新潟県の中越地震など自然災害による被害も、決して人ごとではありません。「まちの安全・安心」は、現在の市民生活の重要なキーワードであると思っています。

本市としましても、昨年度に安全で安心なまちづくり推進条例を制定し、本年度新たに安全安心課を設置するなど「安全で安心なまちづくり」に積極的に取り組んでいきます。

皆さんも、より一層防災・防犯に取り組まれ、まちの安全・安心を高めていただきますことを、お願い申し上げます。  
(市政懇談会「中川地区」4月11日、第二コミュニティセンター)

# ふれあい 広場

## まえばし シティフラッシュ



**全国選抜大会が本市で**  
市長杯全国社会人選抜九人制バレーボール女子フレッシュリーグが、四月八日・九日に県総合スポーツセンターで行われました。全国トップレベル十六チームが参加し、地元群馬銀行が全勝で二年ぶりの優勝。大会終了後は、選手たちが指導する教室も行われました。



## 大胡でさくらまつり

大胡ぐりーんふらわー牧場で4月9日に「さくらまつり」が開かれました。地区の団体が出演し、オランダ風車の前で風神太鼓などを披露する中、飲食物や観光物産品の露店も並び大にぎわい。風が強く、肌寒い日でしたが、桜の開花をみんなで見ながら交流を深めました。



上川淵地区

## 協力し掘払い 世代間交流も

四月十六日、下朝倉町で掘払いが行われました。毎年この時期に地域で一斉に行っています。昔はたくさん魚が採れ、夏はプール代わりだったという堀も今では半分ほどの幅になり、泥の中には、缶や傘などいろいろなゴミも混ざっています。それらをきれいに水で流して分別し、一時間くらいで作業は終了しました。同町の小島義人自治会長は、「多くの人が参加してくれ、きれいになります。世代間交流のいい機会でもあるんですよ」と話していました。



## 式三番叟で 繁栄を祈願

城南地区



二之宮町の二宮赤城神社で四月十五日、式三番叟が上演されました。毎年この日に行われているもので、悪魔を鎮め、天下泰平を祈ります。同神社の境内に舞台が作られた江戸時代後半には既に行われていた歴史ある行事。人が演じる県内でも珍しい式三番叟で、地元の保存会が伝承し、伝授書とともに市の重要有形民俗文化財に指定されています。境内は、たくさんの方の見学者で大にぎわい。四十五分かけて舞が奉納されると、大きな拍手が送られました。



自然環境調査研究で大臣表彰  
片山 満秋さん(72)  
上小出町三丁目

## すべての生物に水は不可欠

平成十八年度「みどりの日」自然環境功労者として、調査・研究を長年やってこま自然環境功労者として、調査・研究を長年やってこま学術研究部門で環境大臣から表彰を受けた。

だが、こうした表彰に選ばれた昭和三十九年の県自然環境調査研究会設立時からメンバーとして活躍。また、尾瀬保護専門委員など多くの役職を務めており、功績が認められた。「粕川町月田の生まれ。家の近くを流れる粕川でいつも遊んでいたから水辺の生物に興味があり、大学で水生生物の研究をしました。水の中も陸上と同じで、小さな沼や身近にある水田にもさまざまな生物の営みがあります。いわばこの「小宇宙」の中で、動植物の連鎖が脈々と続いてい

ることに興味があるんです」大学卒業後、県内の高校で生物を教え、定年後も今年三月まで非常勤講師を勤めていた。また、市自然環境保全推進員として活躍するとともに、南橋公民館の環境保護実践講座や児童文化センターなどで、子どもにも指導している。「生物は水がなくては生きていけないし、地球上ですべてつながっています。生活排水が川を汚すことは、最後には自分に返ってくる問題。自戒しながら、子どもたちに伝えていきたいですね」と、優しい笑顔で語った。